

## 包 括 的 公 表

平成 20 年 1 月～3 月に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

発生場所	概 略	再発防止策
病棟	処置中に、処置台のベッドより床に転落したが、外傷等なく経過した。	転落防止策を徹底する。
病棟	留置物が入浴後、自然に抜け再挿入した。	適切な留置物の管理を徹底する。
病棟	膀胱留置カテーテルを挿入し、固定水を注入したところ、出血がみられた。尿道損傷が確認された。	挿入困難な場合は担当医に連絡し、必要時泌尿器科医師に相談する。
手術室	手術中に突然の血圧低下等発症したが、適切な処置により回復した。	事前に手術方法の検討を行う。
手術室	採取した検体を紛失したが、治療内容には影響がなかった。	検体入れを専用のものでした。
手術室	手術部位が当初の予定とずれたが、機能障害などなく経過した。	位置の確認を随時適切に行う。
外来	結核菌が検出されていたが、適切に説明がなされなかった。	報告システムの周知を徹底する。